

風しんの予防接種（MRワクチン）を受けるかたへ

〔風しん予防接種説明書〕

風しんは、妊娠している女性がかかると、生まれてくる赤ちゃんに心臓の疾患や難聴、白内障、発達の遅れ等（先天性風しん症候群）が生じる可能性があります。妊娠している女性以外でも、大人が風しんにかかると、発熱や発疹の期間が子どもに比べて長く、また関節痛がひどいことが多いとされており、一週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

予防接種（MRワクチン）を接種して、あなたの周りの妊婦さんを、あなたのご家族を、そしてあなた自身を風しんから守ってください。



予防接種の注意事項

体質はそれぞれ違うため程度に差はありますが、まれに副反応が生じる場合もあります。

MRワクチンの主な副反応…発熱・発疹

※他に注射部位の発赤・腫脹（はれ）、硬結（しこり）などの局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、熱性けいれんなど。

※これまでの副反応データから、アナフィラキシー、けっしょうばんげんしょうせいしほんびょう血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどの副反応がまれに生じる可能性があります。その他ごくまれに脳炎、脳症（100万～150万人に1人以下）の報告があります。

一般的注意事項

- ① 予防接種を受ける予定があっても、体調が悪く思ったら、かかりつけ医に相談のうえ、接種するかどうか判断するようにしましょう。
- ② 受ける予定の予防接種について、市町村からのチラシ（この用紙）やパンフレットをよく読んで、必要性や副反応報告についてよく理解しましょう。わからないことは、接種を受ける前に接種医に質問しましょう。
- ③ 予診票は、接種する医師への大切な情報です。責任をもって記入するようにしましょう。なお、予防接種の効果や副反応などについて理解したうえで、接種に同意したときに限り、接種が行われます。

MRワクチンの重要事項

・妊娠可能な女性においては、妊娠の可能性のない月経中や直後の時期を選び、予防接種を受けた後は、2か月間は避妊が必要です。

※MRワクチン接種後に先天性風しん症候群が発生したとの報告はありませんが、あらゆる危険性を避けるため、接種後2か月間は避妊が必要とされています。

予防接種を受けることができない場合

- ①明らかに発熱（通常 37.5℃以上を言います。）している場合
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかでないか
急性で重症な病気にかかっているかたは、その後の病気の変化もわからないことから、その日は接種を受けないのが原則です。
- ③その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかでないか
※「アナフィラキシー」というのは通常接種後約 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。汗がたくさん出る、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出るほか、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状やショック状態になるようなはげしい全身反応のことです。
- ④妊娠していることが明らかでないか
- ⑤その他、医師が不適切と判断した場合
上の①～④に当てはまらなくても医師が接種不適切と判断したときは、予防接種を受けることはできません。

予防接種を受ける際に注意を要する場合

以下に該当すると思われるかたは、かかりつけ医がいる場合には必ず前もって診てもらい、予防接種を受けてよいかどうかを判断してもらいましょう。受ける場合には、その医師のところで接種を受けるか、あるいは診断書又は意見書をもらってから他医で予防接種を受けるようにしてください。

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気のかた
- ②予防接種で、接種後 2 日以内に発熱のみられたかたおよび発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられたかた
- ③過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがあるかた
けいれん（ひきつけ）の起こった年齢、そのとき熱があったか、熱がなかったか、その後けいれんが起こっているか、受けるワクチンの種類などで条件が異なります。必ずかかりつけ医と事前によく相談にしましょう。
- ④過去に免疫不全の診断がなされているかたおよび近親者に先天性免疫不全症のかたがいる場合（たとえば、赤ちゃんの頃、肛門のまわりにおできを繰り返すようなことがあった方の場合）
- ⑤ワクチンにはその製造過程における培養に使う卵の成分、抗生物質、安定剤などが入っているものがあるので、これらにアレルギーがあるといわれたことのあるかた

予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ①予防接種を受けた後の 30 分間程度は、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ②接種後、4 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすりはやめましょう。
- ④当日は、はげしい運動はさけましょう。
- ⑤接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。